



Fracture

校長 濱野 正義

佐世保西高校、本当に素晴らしい生徒たち。芸術鑑賞会での3年生の場の盛り上げ方に感心し、校内持久走記録会での1、2年生の頑張りや最後尾の生徒への温かい声援に感動。新人戦等の部活の試合を見に行けば、どんなに強い相手に対しても最後の最後まで粘り強く戦い抜く。西高生は問題ない。みんな忙しい中でも、やりがいと楽しみを見つけて頑張っている。そう思っていた矢先のこと、教員用の「VIEW next」という雑誌に以下のようなコラムを見つけた。

昼休みに、2学年の教室が並ぶ廊下を歩いていると、1人の女子生徒が、校内では使用禁止の携帯電話を、机の下で隠すようにして操作しているのが目に入りました。授業態度がよく、ルール違反とも無縁だったその生徒の意外な行動を、私は一瞬「見なかったことにしよう」としました。しかし同時に生まれた「なぜ、あの子が?」という思いが、私を教室に引き込みました。

あと1メートルもないところまで近づいて来た私に気づいた生徒は、少し困ったような表情を浮かべただけで、黙って私に携帯電話を差し出しました。ひと言「預かるね」と私。無言でうなずく彼女。ルールに従って、3日間職員室に保管しました。

3日後、生徒が携帯電話を引き取りに職員室にやってきました。面談室に移動し、携帯電話を差し出しながら私は、「携帯電話のない生活はどうだった?」と尋ねました。

次の瞬間、生徒は押し止めていた感情があふれ出たような激しさで泣き出しました。私は驚きつつも、生徒の言葉を待ちました。突然の涙には何か理由があるはずだと思ったからです。1分ほど経ち、落ち着きを取り戻した生徒は、気持ちの整理がついたかのように語り始めました。最近、友人とメールで連絡を取り合うようになったが、連絡が来たらすぐに返事をしないといけない雰囲気になり、家でも学校でも携帯電話が気になって仕方がなかった。このままではいけないと思ったけれど、どうすることもできないでいたところを先生に見つかってしまった。生徒は意を決したような表情で続けました。「3日間携帯電話から離れて、気持ちがすごく楽になりました。今日この後友達には、家や学校にいる時はすぐには返事はできないと、はっきり言います」。そして、「すみませんでした」でも「もうしません」でもなく、「ありがとうございました」と言って、面談室から出ていきました。

私の教員人生を振りかえってみて、「真面目な子だから」とか「成績がいい子だから」と見逃すことはなかった。ダメなものはダメと指導してきた。しかし、ふと思った。目の前の生徒の姿とは違う内面の姿を見抜けていたのだろうか。同時に、西高生も表面上は明るく振舞っているけれど、内面は苦しんでいるのだと改めて思えてきた。だから君たちに伝えたい。

高校時代は、勉強のこと、部活のこと、友達のこと、進路のこと、家族のこと、好きな人のこと、様々なことに悩み苦しんで成長していく時期。高校時代は「骨折」の連続、折れたところが強くなる。失敗や挫折はつらいことだが、乗り越えた分強くなる。失敗することを恐れて前に進まないことの方が問題。これから君たちが歩む人生は、いつでも二択。挑戦するか棒に振るか。ならば、挑戦することを選択。

最後に、彼女のようにSNS関係で悩む中高生が増えているようです。返信が面倒だと感じる時がある一方で、既読なのに友人からの返信がないと、ついイライラしてしまう。「自分、すぐに返信しないときがあるかもしれんけん」と事前に自分の返信ペースを伝えておくなどの工夫が、現代の生活には必要なのではないだろうか。

芸術鑑賞会

10月26日(木)本校体育館にて、芸術鑑賞会が行われました。今年は、和泉流二十世宗家と和泉元彌さんによる狂言を鑑賞しました。「狂言」は、猿楽から発展した日本の伝統芸能で、中世庶民の日常生活を明るく滑稽に描いたセリフが中心の喜劇です。今回の公演は三部構成で、第一部は狂言の歴史や決まり事など、狂言を鑑賞する上で必要なことをわかりやすく説明していただきました。第二部は、「盆山」と「仏師」の二つの演目を鑑賞しました。第三部は「お稽古」参加コーナーで、生徒の中から3年生12名が舞台上がり、和泉元彌さんから直々に狂言の動作や発声の仕方などを指導していただきました。1時間半の予定がオーバーするほど楽しく有意義な一時でした。生徒の感想を紹介します。「今回初めて狂言を生で観ることができ感動しました。古典芸能というとなかなか堅苦しく難しいイメージがありましたが、内容も分かりやすく、何よりとても面白かったです。」「今回狂言を鑑賞して、人間は何百年経っても変わらないものだと思います。だからこそ、このような古典芸能は守り続けていかなければいけないと思います。また、最後に和泉元彌さんがおっしゃったように、素直さを心にとめてこれから生きていこうと思います。」(生徒会)



人生の達人セミナー

11月1日(水)5・6校時、1・2年生を対象に人生の達人セミナーを実施しました。これは長崎県教育委員会の主導により実施されているもので、長崎県にゆかりのある社会人を各校へ招へいし、今後の人生を歩んでいく上での助言や激励をいただくものです。本年度本校では、本校47回生であり、現在は鳴門教育大学大学院学校教育研究科で教鞭をとられている森山倭成先生をお招きし、「西高卒業後の10年」という演題でご講演いただきました。

生徒の中には小学校・中学校の同窓生にあたる者も多く、親近感をもちながら講演を聞いていました。講演の要旨の一つに、「偶然を大切にする」というメッセージがありました。例えば興味があまりないことでも、多少嫌に感じ避けたいようなことでも、その後の人生にどうつながるかはわからない。ご自身の10年間の中では、むしろこの偶然の出会い(人とも学問とも)が人生を支えてくれた、というメッセージでした。生徒の感想を見ても、この内容に最も感銘を受けたという意見が非常に多くありました。先輩からのアドバイスは、後輩へと確実に届いているようでした。(研修部)



校内持久走記録会

例年、相浦の陸上競技場周回コースで行われていたマラソン大会ですが、今年度より学校敷地内での持久走記録会となりました。11月8日(水)、1年生は1・2時間目、2年生は3・4時間目の体育の授業時間に行われました。距離は、女子4km、男子6kmで、体育館前を正門に向かってスタートし、語らいの広場から入ってグラウンド内を周り、また語らいの広場から出て校舎のMR側、セミナーハウス前を通過し、体育館外周を回る1周1kmのコースでした。日中は11月とは思えないような暑さで、走り終わった生徒たちの額からは汗が流れていました。体育の時間に取り組んできた持久走の成果を発揮し、生徒一人ひとりが一つでも前の順位へ、1秒でも早くゴールしようと必死になって取り組む姿や、仲間に「がんばれ!」と熱い声援を送る様子が見られました。早朝からの準備、終了後のあとかたづけを手伝ってくれた陸上部、係生徒や学年の先生方の協力のおかげで、無事に終わることができました。また、育友会の皆様の温かいご支援を頂きました。ありがとうございました。

(体育科)



ライブラリーフェスティバル

11月7日(火)アルカス SASEBOにて、ライブラリーフェスティバル県大会が開催されました。2年増田静香さん、吉木真桜さんが生徒実行委員として7月から準備を進めてきました。当日はオンラインを含め約150名の生徒が参加し、生徒交流会やビブリオバトルを楽しみました。分科会B「わたしのキャラクター作り」では、絵本作家のにしむらかえ氏から広報紙にも使えるオリジナルキャラクターの作り方を教わりました。また、大会の20年の歴史を振り返る演出や本に詳しくない人でも答えられるクイズなど、実行委員の工夫が随所に見られました。なお、上位入賞したPOPは神奈川県で実施される全国大会に出品されます。



朝の挨拶運動

11月に全県下で取り組まれている「高校生さわやか運動」の一環として、本校では11月6日から10日で、1・2年の生活委員と生徒会執行部生徒による朝の挨拶運動が行われました。今年度はさらに12月以降も定期的に生活委員による挨拶運動が、また美化委員による朝の清掃活動など自主的な取り組みがなされています。1日のスタートを気持ちよく切れるように、日頃からさわやかな挨拶を心がけたいものです。

主な試合などの結果

<陸上部> ○令和5年度長崎県高校総合体育大会駅伝競走大会 男子23位、女子10位

<ソフトボール部>

○第42回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会長崎県予選会 準優勝

<男子ハンドボール部>

○令和5年度佐世保地区高等学校新人体育大会ハンドボール競技 第2位

<女子卓球部>

○令和5年度長崎県高等学校新人体育大会卓球競技佐世保地区予選会

女子ダブルス 予選通過(ベスト8) 認定書 2年 佐嘉田知穂・1年 大久保結ペア

<女子バドミントン部>

○令和5年度県北地区高等学校バドミントン競技新人大会

女子団体 準優勝 女子ダブルス 第3位 2年 本田萌寧・1年 山口真実ペア

<柔道部> ○令和5年度佐世保地区新人柔道大会 団体 第3位

個人 60kg級 優勝 2年 木原正登 100kg級 第2位 2年 作永富昭

<美術部>

○令和5年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】

現代アート部門 優秀賞 2年 関東紘明(全国総文祭ぎふ総文2024決定)

デザイン部門 優秀賞 2年 岸川妃翠 優良賞 1年 里村萌花、中原正義

絵画部門 優秀賞 1年 榎田啓翔 優良賞 2年 福田芽生

○第68回長崎県美術展覧会

デザイン部門 美術協会賞 2年 福田芽生

KTNテレビ長崎賞 3年 中里遙人、 入選 3年 島内夢帆

絵画部門 入選 2年 三木彩音

<その他>

○令和5年度長崎県高等学校総合文化祭図書部門第20回ライブラリーフェスティバル県大会

POPコンクール 優良賞 (全国大会出場)

図書館広報紙コンクール 優良賞 2年図書委員 6名

《12月の行事予定》

1	(金)	後期中間考査(～5日)
5	(火)	定期考査最終日・部室棟清掃
6	(水)	採点・評価日 防災避難訓練
9	(土)	プレテスト(～10日 3年)
11	(月)	研修旅行(～14日 2年) 三者面談(～15日 1・3年)
16	(土)	県一斉(1・2年) プレテスト(～17日 3年)
20	(水)	三者面談(～27日 2年)
22	(金)	授業中断日
25	(月)	冬季講座(全学年 ～27日)
28	(木)	プレテスト(～29日 3年)

